

家庭科の学習内容構想とその具体化（第2報） 小学校における学習内容構想と年間計画

宇高 順子*・田辺 勝利*・赤松 純子**

The Learning Contents and Their Actual Instruction of Home Economics Education (Part 2) — Contents and the Program for the Year in Elementary School —

Junko UDAKA* Katsutoshi TANABE* Junko AKAMATSU**

* (家庭科教室) ** 聖カタリナ女子短期大学

(1990年10月11日受理)

The following items were indicated : the comparison between the Old Course of Study and the New one, the summary of interpretation about the New one, authors' consideration about the New Course of Study and about the learning contents and the contents itself. These were as concerns 5・6 grade in Elementary School. And the Home Economics Program for the year in Elementary School were indicated also.

Each area's theme of the learning contents was as follows.

Area 1. 【Family Life and Housing】

— Self and Family, Comfortable Dwelling Environment, Effective Use of Materials —

Area 2. 【Food】

— Condition for Healthy Dietary Life —

Area 3. 【Clothing】

— Structure of Yarn and Cloth, Laundering and Repairs —

第1報の基本的な考え方と方法²⁵⁾に基づいて、小学校第5・6学年の学習内容構想と小学校家庭科の年間計画を示した。

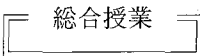
結 果

小学校第5学年の学習内容構想を表1.～3.に、第6学年の学習内容構想を表4.～6.に、小学校家庭科の年間計画を表7.に示した。

表1. ～6. の見方は次のとおりである。

- 表は、左から順に次のように示した。

旧学習指導要領（目標・内容）
新学習指導要領（目標・内容）
新学習指導要領の解説……解説書 ¹⁾ ～ ⁵⁾ を要約した。
考察……新学習指導要領に対する考察と学習内容構想の考え方を示した。
学習内容構想

- 旧・新学習指導要領におけるアンダーラインは、各学校段階での領域間にわたる両者の差異点を示した。
- 新学習指導要領の解説における * は、今回削除または統合された部分を示した。
- 新学習指導要領に解説におけるアンダーラインは、教科間・領域間の関連を示した。
- 考察における（ ）付き番号とカタカナ記号は、新学習指導要領のそれを示した。
- 新学習指導要領の解説・考察・学習内容構想における小学校の【家】は【家族の生活と住居】領域を、中学校の【家】は【家庭生活】領域を、【食】は【食物】領域を、【被】は【被服】領域を示した。
- 考察・学習内容構想における《 》は、学習内容の分類を示した。《 》の配置順および学習内容の番号は、必ずしも授業展開順を示すものではない。
- 考察・学習内容構想における学習内容の番号は、第2～4報の通し番号で示した。関連する他領域の学習内容の番号は、（ ）をつけて示した。
- 新学習指導要領の解説・考察・学習内容構想における〈 〉は、教科等を示した。その内容を○で示した。〈 〉のない○は、教科を特定しないが関連する内容を示した。
- 考察・学習内容構想における  総合授業 は、総合授業を示した。

参 考 文 献

- 1) 文部省内教育課程研究会監修，桜井純子編著：『小学校新教育課程を読む 家庭科の解説と展開』，教育開発研究所（1989）
- 2) 桜井純子編著：『（改訂）小学校学習指導要領の展開 家庭科編』，明治図書
- 3) 桜井純子編著：『小学校新教育課程の解説 家庭』，第一法規（1989）
- 4) 熱海則夫監修，桜井純子・今成昭編著：『'89告示小学校学習指導要領 家庭科の解説と実践』，小学館（1989）
- 5) 熱海則夫監修，桜井純子著：『注解小学校新学習指導要領 家庭』，光文書院（1989）
- 15) 『大学家庭科研究会会報』No. 51・52合併号，9，大学家庭科研究会（1985）
- 25) 赤松純子・宇高順子・田辺勝利：家庭科の学習内容構想とその具体化（第1報）基本的な考え方，『聖カタリナ女子短期大学紀要』，24（1991）（投稿中）
（文献は，本論文シリーズの通し番号で示した。）

表1. 小学校 第5学年【家族の生活と住居】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1) - 8)}	考 察	学習内容構想 (20 時数)
<p>1 目標</p> <p>日常生活に必要な衣食住などに関する実践的な活動を通して、基礎的な知識と技能を習得させるとともに家庭生活についての理解を深め、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p> <p>(3) 清掃、整理・整頓及び仕事に役立つ簡単な物の製作ができるようにするとともに、家庭における家族の仕事や役割を理解させ、協力して家庭生活を明るくしようとする態度を育てる。</p> <p>【住居と家族】</p> <p>2 内容</p> <p>(2) 家庭における家族の立場や役割を理解させ、自分の分担できる仕事の仕方を工夫し、家庭における仕事に協力することができるようにする。</p> <p>(1) 自分の持ち物の整理・整頓、床、窓などの清掃、清掃用具の取扱い及びごみの処理が適切にでき、気持ちのよい住まい方を工夫することができるようにする。</p> <p>(3) 家庭における仕事に役立つ簡単な物を、布などを用いて製作し、活用することができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>衣食住などに関する実践的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的な知識と技能を習得させるとともに家庭生活についての理解を深め、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p> <p>(3) 家庭における家族の生活を理解し、快適な住まい方や計画的な生活を工夫することができるようにするとともに、協力して家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。</p> <p>【家族の生活と住居】</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 家庭における家族の仕事や役割が分かり、家族の一員として家庭の仕事に協力できるようにする。</p> <p>ア 家族の仕事や役割が分かり、自分の立場や役割について考えること。</p> <p>イ 自分の分担する仕事を工夫してできること。</p> <p>(2) 身の回りの整理・整頓や清掃の適切な仕方が分かり、気持ちよく住むことができるようにする。</p> <p>ア 収納の仕方を工夫し、自分の持ち物の整理・整頓ができること。</p> <p>イ 材質や汚れに応じて適切な清掃ができること。</p> <p>(3) 身の回りの品物について活用の仕方が分かり、不用品やごみを適切に処理できるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>最近の子ども達は日常生活の中での作業体験が少ないので、特に小学校では、具体的な体験を通して理解させ、抽象的な理論思考への基礎を培う。日常生活に必要な知識と技能を習得させ、それらが家庭生活を営む上で、どのように必要で、また役立っているかを理解させ、生活を見える目を養う。創意工夫して家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を養う。</p> <p>学年の枠にとらわれなくて、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた。</p> <p>(3) 家族の生活と関連させながら住居の内容を取り扱うことを一層明確にする観点から、領域名を【家族の生活と住居】に改めた。</p> <p>2 内容</p> <p>社会や家庭の生活の変化を考慮し「家族の生活に関する内容」を重視する。「住まい」と関連させる。</p> <p>(1) 家族の仕事・役割</p> <p>*「家族の立場」は、児童にとっては高度な内容であるため削除し、中学校【家】領域で扱う。</p> <p>第6学年の「生活時間の有効な使い方」と関連が深いので、両学年を見通し、弾力的な指導計画を作成することが望ましい。児童の家庭環境の相違が大きいことを配慮する。</p> <p>ア 家族一人一人が役割に応じて仕事を分担し、互いに協力しあうことによって生活が成立することの理解。両親には家庭生活だけでなく社会的な役割があること、老人や幼い子ども達にも心配りができるようにする。自分の仕事またはやればできる仕事であるのに家族にやってもらっていないかを考えさせる。</p> <p>イ 児童が家庭の実態を考え、自分で仕事を選び、仕事の仕方を工夫する。</p> <p>(2) 整理・整頓、清掃</p> <p>*「床、窓などの清掃」は、「材質や汚れに応じた清掃」とし、弾力的に扱えるようにした。</p> <p>(1) と関連させる。また第6学年の「買い物の仕方」「快適で安全な住まい方」に発展させる。</p> <p>ア 同じものを重複して集めたり、不必要なものまで購入している原因を考えさせ、豊富な情報や物にまどわされず、計画的な物の買い方・使い方を工夫させる。収納場所・用途・取り出し易さ・安全を考え、常にそれに従って整理・整頓する必要があることなどを基本的に押えて、単純なきまりで時間がかからない整理・整頓の方法を身につけさせたい。教室に勉強机や本棚などを留意して、本・学用品・引き出しの中などの整理の仕方を工夫させる。空き箱や空き缶などを活用した整理もよい。調理実習後の用具・食器、被服はさみなどの収納を実施し、使用後はもとに戻す習慣をつけさせる。更に整理・整頓により、仕事が安全に能率的にできることを理解させ、進んで整理・整頓ができるようにする。</p> <p>イ 児童の身近な勉強や仕事の場の清掃にしばり、材質などに応じた清掃の仕方を理解させ、対象が異なっても応用できる基本的な能力を養う。机：木材なら水ぶき、デコラ張りなら水ぶき後に空拭き。床：ワックス、塗料がけなら空拭きなど。汚れの種類・付いた場所・時間の経過・湿度などによりとれにくくなることに気づかせ、被服の汚れと同様、汚れは新しいうちに落とすことの大切さを理解させる。清掃用の用剤は、使用説明書を参考に十分注意して扱う必要を理解させる。</p> <p>*「清掃用具の取扱い」は削除したが、指導したい。</p> <p>(3) 物の活用とごみ処理</p> <p>*「物資の活用」に関する内容を追加した。</p> <p>第6学年【被】領域「日常着の選び方」「日常着の手入れ」と関連させる。(2)「整理・整頓、清掃」によって出たごみや不用品の処理が適切にできるようにする。空き缶や古紙のように再利用できるものは利用し、資源を保護する必要があることを理解させる。</p> <p>*「製作」は削除し、第6学年にまとめたが、不用品を再活用した小物づくりをするのもよい。</p> <p>たい肥になるごみ・燃やせるごみ・燃やせないごみの分類。たい肥の中の針やガラス片の危険なこと、ビニール製品は高熱を出し焼却炉を傷めることなど、分別処理の必要性の理解。調理のあとの生ごみのしまつ、被服製作の糸くず・折れ針のしまつなども関連させる。収集したごみの社会的処理経路、環境とごみ処理施設の問題等は、＜社会＞の学習を想起させる程度にする。</p>	<p>(1) 現実の家族の仕事や分担を一覧表にするだけでは何も見えて来ない。</p> <p>・自分があたりまえだと思っていることを、他の家族との比較によって改めて見直し、自分の家族の生活を認識させる。</p> <p>・＜理科＞と関連させる</p> <p>○ 人の男女の外部形態の違い</p> <p>○ 受精のしくみ(母体内)</p> <p>・＜体育＞と関連させる</p> <p>○ 思春期と初潮・精通</p> <p>○ 不安解消、解決方法</p> <p>・家族の発達段階の違いがわかる</p> <p>(2) ア 「整理・整頓」は、【被】「日常着の整理・整頓」と関連している。ここで整理・整頓の共通ポイントを押えた後、【被】領域では被服固有のポイントを押える。</p> <p>イ 第6学年【被】領域「日常着の洗濯」と関連している。洗剤については【被】領域で詳しく扱うことになるので、住居洗剤等は洗濯を学習した後が適当と考えられる。ここでは洗剤を使わない清掃の工夫を中心に扱う。</p> <p>・【被】領域の洗剤を使わない予洗いの重要性を理解させることにしよう。</p> <p>―― 総合授業 ――</p> <p>・＜社会＞と関連させる</p> <p>○ 環境保全と資源の重要性</p> <p>○ 公害</p> <p>○ 森林資源の大切さ</p> <p>・＜学級活動＞と関連させる</p> <p>○ 鶏を飼う</p> <p>○ 土作り(草・落葉・鶏糞)</p> <p>○ 野菜作り</p> <p>(3) 不用品の活用として、小物の製作がよく扱われるが、再活用とはいえないものも多い。ここでは、不用品を生みだすモトを考えることを重視した。ゴミ処理を通して、何が必要かの生活価値観の形成をめざす。</p> <p>・第4学年＜社会＞「廃棄物処理」への提言として、ごみの行方の現状までは教えてほしい。</p> <p>【食】(基礎的な調理)と関連</p> <p>3) 食品の特徴と見分け方</p> <p>5) 間食</p> <p>・市販おやつの問題点を知る</p>	<p>―自分と家族、住みよい住環境、物の活用―</p> <p>《人間の生活》</p> <p>1 自分と生活</p> <p>・小学生でできること・できなければならないことと、自分がやっていることを比較する</p> <p>・役割分担を見直す</p> <p>できることをやっていない理由を考える</p> <p>汚い仕事を誰かにまかせていないか</p> <p>学校生活の中での暗黙の役割分担はないか(調理実習、掃除などで)</p> <p>教科書等における役割指定に気づく(女弁護士会の調査書を読む)</p> <p>自分の家族の役割分担を見直す(サザエさんの家族)</p> <p>男らしさ・女らしさ・個人差(体力・好み・器用さ)</p> <p>○ 地域の年中行事に参加する</p> <p>○ みんなで仲良く……兄弟姉妹・友人</p> <p>○ 乳幼児と自分の発達の違いがわかる</p> <p>○ 乳幼児の世話を手伝うことができる</p> <p>2 家族の在り方を考える</p> <p>・昔の家族・今の家族を知る</p> <p>・日本の各時代の家族を知る</p> <p>家事労働分担者の地位</p> <p>台所の位置</p> <p>《生活と環境》</p> <p>3 お互いに住みよい環境をつくらることができる</p> <p>・住居</p> <p>体と身近な生活用具の大きさの関係をj知る</p> <p>整理・整頓ができる</p> <p>涼しい住まい・暖かい住まいがわかる</p> <p>―― 総合授業 ――</p> <p>・ごみ・環境</p> <p>洗剤を使わないで清掃ができる</p> <p>ごみ処理ができる</p> <p>清掃やごみ処理がしやすい住まいを考える</p> <p>ごみの行方(土や水の微小生物及び土の浄化作用)</p> <p>○ 安全教育</p> <p>安全な遊具・遊び方がわかる</p> <p>危険な器具を注意して扱える</p> <p>他人に注意を喚起できる</p> <p>《生活と経済》《生活と環境》</p> <p>4 身の回りの物の活用の仕方</p> <p>・物を長持させる方法を考える</p> <p>―― 総合授業 ――</p> <p>・不用品の処理と活用</p> <p>ごみすての現状を知る(ごみの分類・ゆくえ)</p> <p>再利用の必要性(空き缶、ビン、紙など)</p> <p>ごみを少なくする工夫の必要性がわかる</p> <p>・古毛布からアイロン台の製作</p> <p>・買い方・持ち方・使い方を考える</p> <p>無駄な物の点検(使わない物、重複している物はないか)</p> <p>・生活情報に興味をもつ</p> <p>○ 食・被服・住まい・保育・性の情報に興味をもつ</p>

表2. 小学校 第5学年【食物】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1)～5)}	考 察	学習内容構想 (30 時数)
<p>1 目標</p> <p>(2) 簡単な調理ができるようにするとともに、<u>食物の栄養について理解させ、望ましい態度で食事をすることができるようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) 日常食品に含まれている栄養素及びそのはたらきを知り、食品を組み合わせてとる必要があることを理解させる。</p> <p>(2) 野菜の生食、ゆで卵、緑黄色野菜の油いためなどの簡単な調理ができるようにする。 ア 調理に必要な材料の選び方及び計量の仕方が分かること。 イ 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方、味の付け方及び盛り付け方が分かり、調理が手順よくできること。 ウ 調理に必要な用具及び食器の安全で衛生的な取扱い並びに燃料及びこんろの安全な取扱いができること。</p> <p>(3) 簡単な間食を整え、すすめ方及び食べ方を工夫し、団らんの場合を楽しむことができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>(2) 簡単な調理ができるようにするとともに、<u>日常食の栄養的なとり方や会食の意義を理解し、食事を工夫して整えることができるようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) 体に必要な栄養素とその働き及びそれらの栄養素を含む食品の種類が分かり、食品を組み合わせてとる必要があることを理解できるようにする。</p> <p>(2) 野菜や卵を用いて簡単な調理ができるようにする。 ア 調理に必要な材料の選び方や計量の仕方が分かること。 イ 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方、味の付け方及び盛り付け方が分かること。 ウ 野菜を切ったりいためたりできること。また、卵をゆでたり焼いたりできること。 エ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び燃料やこんろの安全な取扱いができること。</p> <p>(3) 簡単な間食を整え、食べ方やすすめ方を工夫し、団らんの場合を楽しむことができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>学年の枠にとらわれなくて、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた</p> <p>(2) 栄養的バランスを考えて簡単な一食分を整えることができるようにする。食事がなごやかな人間関係を作るのに大きな役割を果たしていることを理解させる</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 食物の栄養 ＜給食指導＞での「三つの食品群の働き」と関連させる 第6学年＜理科＞の澱粉・脂肪・たん白質等の学習に関連 第6学年の「<u>栄養を考えた献立づくり</u>」に発展させる 食べ物の摂り方と発育・体格の関わりを考えさせ、偏食が病気を招くこと、栄養素の働きの大切さを理解させる。五大栄養素の働きを大づかみにわからせる 一つの食品が全ての栄養素を含んではないこと、食品を組み合わせる必要性の理解 食品群は、絶対的なものではなく、児童の実態に応じての食品群や六つの基礎食品群など適宜に扱う</p> <p>(2) 調理 ＊「調理」については素材を示し、調理法は弾力的に扱えるようにした。児童に選択の余地を示すのがよい 第5学年では、主として単品で調理を扱う ＊「調理が手順よくできること」は第6学年に移行 ＊「卵」は第5学年に統合 調理計画の立て方、調理用具・燃料器具扱いについての基本的な指導をし、協働の大切さをわからせる イ 材料の洗い方（流し洗いがよいこと、洗いとビタミンの関係など）、野菜の特質や調理に応じた切り方（またはちぎる）、切った後は空気中に長く放置しないこと、計量の仕方（計量スプーン・計量カップ・計り・温度計）などを押える 調味料の計量と割合、盛りつけの工夫等の調理の基礎を確実に押える。味つけは、塩味程度とする ウ 加熱野菜の摂り方が少ない問題を自覚させる 「野菜を切ったりいためたり・卵をゆでたり焼いたり」は、各々両方の調理ができるようにすること 野菜の種類により、調理の用途が異なることを理解させる（生食用・加熱用） ＜例＞野菜サラダ、野菜の油いため 野菜の生食は、ビタミンCを効果的にとれ、歯ざわりを賞味できることを理解させる 緑黄色野菜は、生食より油いための方がビタミンAを効果的にとれ、容量も減って食べやすいことを理解させる 「いためる」野菜は、緑黄色野菜を中心に他の野菜の組み合わせを工夫させる 火の通りにくい野菜の切り方・下ゆで・加熱の順序、アク抜きを要する野菜の下ゆでの工夫をわからせる 卵の調理では、卵の栄養価、鮮度の見分け方、たん白質の凝固と加熱時間の関係を理解させる ＜例＞ゆで卵、目玉焼き、いり卵、オムレツ フライパンを使って卵を焼き、フライパンの扱い方・処理方法の習得後に、野菜の油いためをするのもよい エ ガス爆発事故を知らせる。燃料の性質・器具の種類による点火操作や整備点検の仕方（科学的観点、危険防止）を確実に押える（第6学年【家】領域の(3)「快適で安全な住まい方」と関連）。基本的な知識と操作は、個別指導も必要。洗剤の効と害、包丁・まな板の安全で衛生的な扱い、鍋などの用具・食器・ふきん等の洗い方、始末、生ごみの処理（【家】領域「ごみの処理」に関連）</p> <p>(3) 間食 間食の意義。よい間食の選び方・とり方。品質表示などを見て適正に選べるようにする（第6学年【家】領域「<u>買い物の仕方</u>」に関連）。安全な手作りおやつにも着目させる。郷土色豊かな題材もよい。おやつを作るというより整える方法を工夫させる。お茶の入れ方・飲み方も扱う（第6学年【会食】に関連）。団らんは人間関係をよくすることに気づかせ、楽しい雰囲気づくりを工夫し、マナーを身につけさせる。＜例＞クラッカーにジャムを塗る、カステラを切る、果物の皮をむいて整えるなど</p>	<p>(1) 日本人が不足しやすい食品群を知る ・第6学年＜理科＞と関連させる ○ 消化・吸収・排泄</p> <p>(2) 扱いやすい食品であるというだけでなく、日本人の健康との関連で推奨したい食物から取り上げる配慮が必要 ・第4学年秋～第5学年春＜学級指導＞と関連させる ○ 栽培（菜種または綿） （→油を絞る→いためもの）</p> <p>・小学校高学年では調理途中で味つけしない簡単な調理を扱う（切る、皮をむく、ゆでる、いためる、焼く） ・伝統食の見直し 卵より青魚（いわし） サラダより、おろし大根や野菜の塩もみ 野菜いためより青菜の浸し ・「サンドイッチ」は第6学年の(2)にあるが、第5学年の「ゆで卵」のところに統合できる ・＜学級指導＞と関連させる ○ 飼育 ・鶏を飼う→卵を食べる ○ 土作り（草・落葉・鶏糞） ○ 栽培 ・野菜作り 葉菜・果菜・芋</p> <p>(3) 間食の整え方や団らんより、間食の内容の問題が大きい現状である。加工品・半加工品に少し手を加えるだけでは、その問題解決にならない 団らんは、間食より食事時に確保することが先決である 間食を美的に整えるより、素材を活かした素朴なおやつを見直したいものである ・【家】《生活と経済》と関連 4) 身の回りの物の活用の仕方 ・買い方・持ち方・使い方を考える 無駄な物の点検 ・＜社会＞と関連させる ○ 我国の食料生産 ○ 農業と自然環境の関わり ・第6学年＜理科＞と関連させる ○ 植物の成長と種子の栄養（デンプン） ○ 消化・吸収・排泄 ・お茶の入れ方は第6学年に統合 ・飲み物は牛乳にする ・牛乳の栄養的意義を理解させる</p> <p>・【家】《生活と経済》と関連 4) 身の回りの物の活用の仕方 ・生活情報に興味をもつ</p>	<p>－健康的な食生活の条件－</p> <p>《食事と健康》</p> <p>1 栄養 ・五大栄養素を知る ・六つの基礎食品群を知り、分類できる 日常の一食のチェック</p> <p>2 嗜好と味覚形成と健康の関係を考える 偏食 個人や家族の嗜好と味つけ・味覚形成の関連がわかる（糖分・塩分・脂肪分・硬さ等）</p> <p>《基礎的な調理》《食事と健康》《食文化》 《食料事情》</p> <p>3 食品の特徴と見分け方 ・卵・野菜・食用油・牛乳・パンの特徴、鮮度（色・匂い・見栄え）、旬、品質、表示 ・植物油を採取する（菜種、綿など） 原油と精製油の品質、栄養価 製油と化学薬品の使用</p> <p>4 軽食作り ・ゆで卵、卵焼き……たん白質凝固実験 ・一人分の材料の量に気づく ・もう一品足すとよい料理を考える ゆで卵＋生野菜→ オープンサンド→ 間食 イチ 牛乳 ・衛生実験（寒天培養） ・野菜のいためもの……あく抜きしない野菜でカロチン 洗い方 皮むき……農業除去、食味上 切り方……短冊切り、みじん切り、輪切り 加熱方法……鍋を熱してから、入れる順番 味付け……塩・コショウ 燃料、コンロ、用具、食器の扱い方 ・作る人・食べる人の人間関係と食事の楽しさ ・ごみ処理 油污れの処理、台所用洗剤 ○ 食事作りの手伝いをする</p> <p>5 間食 ・間食とは ・市販おやつの問題点を知る 品質表示 食品添加物 着色料検出（毛糸染色等） 宣伝と購買欲 価格（流通経費・宣伝費・包装器材費含） ・おやつを買う方がわかる ・とり方 間食の適切な量、時間帯、食べ方がわかる ・地域の昔のおやつを見直す ・遠足のおやつを考える ・間食を整える ＜間食例＞ 果物の皮むき 干柿づくり（皮むき） さつまいも……焼く、ふかす やきもち ゆで栗 お好み焼き いり豆、椎の実 いりこ 牛乳 ・ごみ処理</p> <p>○ 食の情報に興味をもつ</p>

表3. 小学校 第5学年【被服】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1)～8)}	考 察	学習内容構想 (20 時数)
<p>1 目標</p> <p>(1) 布を用いた身の回りの簡単な物の製作及び日常着の手入れができるようにするとともに、日常着の<u>保健衛生的な着方を理解させ、身なりを整えることができるようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) 被服のはたらきを知り、<u>気温や季節に応じた日常着の着方並びに衛生的な下着の着方及び選び方を理解させる。</u></p> <p>(2) 洗たくに必要な洗剤及び用具の<u>使い方を理解させ、下着などの簡単な洗たくができるようにする。</u></p> <p>(3) 日常着の整理・整とんの仕方を工夫し、ボタンなどを付けることができるようにする。</p> <p>(4) 簡単な小物及び袋を製作することができるようにする。</p> <p>ア 使用目的に応じた形、大きさ及び材料が分かること。</p> <p>イ 採寸及び裁断並びに手縫いによるなみ縫い、返し縫い、玉結び、玉どめなど及びミシン縫いによる直線縫いができること。</p> <p>ウ 製作に必要な用具の種類及び扱い方が分かり、その安全な取扱いができること。</p>	<p>1 目標</p> <p>(1) 布を用いた身の回りの簡単な物の製作や日常着の手入れができるようにするとともに、日常着の着方や<u>選び方を理解し、被服を工夫して整えることができるようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) 被服の働きが分かり、<u>目的に応じて日常着を着ることができるようにする。</u></p> <p>(2) 日常着の整理・整とんやボタンなどを付けることができるようにする。</p> <p>(3) 簡単な小物及び袋を製作することができるようにする。</p> <p>ア 使用目的に応じた形や大きさ及び材料の<u>選び方が分かり</u>、採寸や裁断ができること。</p> <p>イ 手縫いによるなみ縫い、返し縫い、玉結び、玉どめなどができること。また、ミシンを用いて直線縫いができること。</p> <p>ウ 簡単な装飾ができること。</p> <p>エ 製作に必要な用具の種類や扱い方が分かり、その安全な取扱いができること。</p>	<p>1 目標</p> <p>学年の枠にとらわれないで、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた</p> <p>(1) 被服製作の基礎的な知識と技能を習得させる 着方を理解した上で、消費者として既製服等を選ぶ目を養い、その場にふさわしい被服を選び、感じよく着られるように手入れして整えることができるようにする</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 着方</p> <p>*第5学年では「被服の着方」について取り上げる</p> <p>*「下着の着方及び選び方」は削除する</p> <p>被服の働き</p> <p>①保健衛生上…温度調節、汗・汚れの吸着</p> <p>②生活活動上…活動しやすさ、くつろぎやすさ、安全の確保</p> <p>③個性表現上…感覚・趣味などの表現</p> <p>④社会生活上…風俗(行事等)、習慣、社会的制約</p> <p>①②を中心に扱い、それにふさわしい着方ができるようにする</p> <p>下着の着方は①で指導する</p> <p>布地の種類によって保温性や通気性、吸水性などに違いのあることを、実験や標本でわからせる</p> <p>児童の運動着・休養着・訪問着などを観察させ、着用品の・着心地・活動しやすさ・好み・TPOにあっているか等を見直させる 安易に大人の服装のまねをしたり、流行を追うことに疑問を感じるようにさせる</p> <p>*「洗たく」は第6学年に統合</p> <p>(2) 日常着の整理・整とん、ボタンつけ</p> <p>「製作」や【家】領域の「整理・整とん」と関連させる</p> <p>いつも整った身なりをするには、脱いだ服をどうするか(汚れを確かめてブラッシング、運動着や通学着などの手早く能率的なたたみ方など)、洗濯した日常着の分類(種類や収納の場に応じ、次に着る場合を考えて整理・整とんする方法)を工夫させ、手入れによって被服のいたみや着心地が違ってくことを経験してわからせる</p> <p>ボタンの働き(衛生上・活動上・容儀上・外観上の機能)と、点検によって早い目に補強したり付け替えたりすると紛失しないなど、手入れの大切さに気づかせる</p> <p>ボタンを付ける位置、ボタンなどの大きさや色、糸の太さや色、付け方、用具の使い方等、基礎的な知識の定着と日常生活において最小限ボタンつけができるようにする 針と糸の関係がわかる 既製服のボタンつけの評価ができるようにする(第6学年「日常着の選び方」と関連させる)</p> <p>二つ穴・四つ穴・足付きなど、ボタンの大きさや厚みを考えて1～2種類取り上げるだけでもよいが、ボタン以外にスナップ・かぎホック・ビーズ・スパンコール等も扱ってよい</p> <p>(3) 小物・袋の製作</p> <p>第6学年【家】領域「買い物の仕方」、第5学年【家】領域「ごみの処理」と関連させる 第6学年の「製作」へ発展</p> <p><例>鉛筆入、小銭入、ティッシュペーパー入れ、ミニマスコット、ワッペン、はさみのキャップ、ウォールポケット</p> <p>形や大きさは、縫い代やゆるみを含めて考えることをわからせる 裁ったり縫ったりしやすい布地がよいことをわからせる 布地の縦方向・横方向の性質の違いをわからせ、布目を考えて無駄なく布を裁断できるようにする</p> <p>しるしのつけ方、まち針のうち方、手縫いの基礎となるなみ縫い、返し縫いができるようにする 返し縫いには、本返し縫いと半返し縫いがあること、かがり縫いも扱ってもよい</p> <p><例>ミシン縫い…鉢巻き、台ふきん、袋の底</p> <p>製作でなく、練習布による直線縫いの扱いでもよい</p> <p>*手縫いの基礎縫いを利用した「装飾」とする</p> <p>ミシン縫いは、糸の調子や針目の大きさを調整しながら、しるしに沿って直線状に縫えるようにする</p> <p>用具の使用目的、安全で正しい使い方(特に針・はさみ)、しるし方の理解・実践 自分の手の大きさと用具の大きさ・重さなどにも関心を持たせる</p> <p>電気アイロンは、布地に適した温度調節、適切なかけ方、後しまつ(火傷、感電、火災の防止)などを理解させる 電気アイロンは、布を裁つ前のしわのばし程度に使用させる(中学校【家】領域で扱うとする本もある)</p>	<p>・内容を精選して、個々の単元を丁寧に指導し、家庭で実践できるようにするまで指導することが肝要</p> <p>・体験学習を通じて、人間の知恵の歴史をふりかえると同時に、原理を理解させる</p> <p>・【家】《生活と環境》と関連</p> <p>3) お互いに住みよい環境をつくることのできる</p> <p>・住居</p> <p>整理・整とんができる</p> <p>・【家】《生活と経済》と関連</p> <p>4) 身の回りの物の活用の仕方</p> <p>・買い方・持ち方・使い方を考える</p> <p>無駄な物の点検</p> <p>・古タオル・シーツの再活用</p> <p>・ミシンの扱いは第6学年に統合した方がよい</p> <p>・第5学年では基礎技能の定着化を図るため手縫いに限定する</p> <p>・電気アイロンは、第6学年【被】「洗濯の脱水方法、洗濯物の整とん」のところで統合した方が効果的</p> <p>・【食】《食事と健康》と関連</p> <p>5) 間食</p> <p>・着色料で毛糸染色</p> <p>・【家】《生活と経済》と関連</p> <p>4) 身の回りの物の活用の仕方</p> <p>・生活情報に興味をもつ</p>	<p>一糸・布の成り立ちと被服の手入れ</p> <p>《被服材料》</p> <p>1 繊維</p> <p>・綿を栽培する (5～11月)</p> <p>・羊を飼育する (動物園見学) (春～夏)</p> <p>・蚕を飼い、繭作りを観察する (5～8月)</p> <p>2 糸(紡績糸)を紡ぐ</p> <p>・繭から生糸を製糸する</p> <p>・綿から糸を紡ぐ</p> <p>3 編物を編む</p> <p>・たこ糸で魚網や虫取り網などを編む</p> <p>編物のしくみと性質を知る</p> <p>《被服管理》</p> <p>4 日常着の整理・整とん</p> <p>・分類・収納ができる</p> <p>5 補修</p> <p>・糸と針の役割を考える</p> <p>・ボタンつけができる</p> <p>玉むすび、玉どめ</p> <p>《被服製作・染色》</p> <p>6 学校の机用台ふき又は雑巾の製作</p> <p>・並み縫い</p> <p>・折れ針・切れ端の処理</p> <p>《着方》</p> <p>7 日本人はどのような服を着てきたか調べる</p> <p>・四季の気候と被服の関係</p> <p>素材</p> <p>形…貫頭衣(シンプル・活動的)</p> <p>8 被服の役割を考える</p> <p>・保健衛生上の役割</p> <p>・生活活動上の役割</p> <p>9 気温・活動量・発汗にあわせて被服を選ぶ</p> <p>・素材</p> <p>・形(開口部分)</p> <p>・着脱</p> <p>・肌着を着る方が涼しい場合がわかる</p> <p>・下着の働き</p> <p>○ 被服の情報に興味をもつ</p>

表4. 小学校 第6学年【家族の生活と住居】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1) - 5)}	考 察	学習内容構想 (20 時数)
<p>1 目標</p> <p>(3) 健康な住まい方の工夫及び生活に役立つ簡単な物の製作ができるようにするとともに、家庭における家族の生活を理解させ、協力して家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。</p> <p>【住居と家族】</p> <p>2 内容</p> <p>(2) 家族の生活時間を考え、時間の有効な使い方を工夫し、家庭生活に協力することができるようにする。</p> <p>(3) 買物の仕方及び金銭収支の記録などを工夫し、計画的な生活が必要であることを理解させる。</p> <p>(1) 住居のはたらきを知り、寒さや暑さを防ぐ住まい方、換気の仕方、暖房用具の安全な扱い方及び採光や照明の仕方を理解させ、健康な住まい方を工夫することができるようにする。</p> <p>(4) 室内の美化や家族の生活に役立つ簡単な物を、布などを用いて製作し、生活を楽しむことができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>(3) 家庭における家族の生活を理解し、快適な住まい方や計画的な生活を工夫することができるようにするとともに、協力して家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。</p> <p>【家族の生活と住居】</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 団らんや仕事など生活時間の有効な使い方を工夫し、家庭生活に協力できるようにする。</p> <p>(2) 買物の仕方や金銭の使い方が分かり、計画的に生活する必要があることを理解できるようにする。</p> <p>ア 物の選び方や買い方を考えて、適切に購入することができること。</p> <p>イ 金銭の使い方と記録の仕方を工夫すること。</p> <p>(3) 住居の動きが分かり、快適で安全な住まい方を工夫することができるようにする。</p> <p>ア 気候の変化に対する住居や住まい方の工夫が分かり、換気をしたり暖房用具を安全に扱ったりすることができること。</p> <p>イ 採光のための工夫や照明の仕方が分かること。</p> <p>ウ 近隣の人々の生活を考え、環境を清潔にしたり騒音を防止したりする必要性が分かること。</p> <p>(4) 家族の生活に役立つ簡単な物を布などを用いて製作し、活用できるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>学年の枠にとらわれないで、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた</p> <p>(3) 家族の生活や消費者としての立場、快適な住まい方についての理解を通して、家族と協力して家庭生活をよりよくするために、自分でできることを考え、実践しようとする態度を育てる</p> <p>家族の生活と関連させながら住居の内容を取り扱うことを一層明確にする観点から、領域名を【家族の生活と住居】に改めた</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 生活時間</p> <p>*「家族の生活時間」は削除</p> <p>家族構成や職業で生活の仕方が違うことに配慮</p> <p>第5学年「家族の仕事・役割」と関連させる 自分の生活時間を見直させ、家族関係を円滑にする時間を生み出し、家族に協力する工夫をさせる 家族としての共同体の意識で、家族とともに過ごす時間を確保することの大切さに気づかせる (食事や食後の団らん、調理などの手伝い、スポーツ、趣味等)</p> <p>(2) 買物の仕方、金銭の使い方</p> <p>ア 第5学年「整理・整頓」「物の活用」と関連させる 実際に買う行為を伴った指導が望ましい 学用品・おやつ・調理や被服実習の材料 (関連) などについて、品質の見方、取り扱い表示の見方、新旧の見分け方、価格、店の選び方などを調べさせる また、実物や包装紙などを持ち寄り、選んだ観点などを述べさせる 本当に必要なことについての購入場面の寸劇 産地直送による共同購入等の仕組みと利点の理解 消費者の商品に対する知識と購入する場合の姿勢が大切なことを理解させる 情報の収集等にも気づかせる</p> <p>イ 必ずしも記録のつけ方を教えるなくてもよい いろいろな金銭記録の方法があることを指導する 買い物のメモ、レシートの見方 (レシートの記号の見方、レシートの受取り時には購入した品物と突き合わせることの必要性) やそれを利用した記録、レシートや領収書の保存の必要性など 通信販売や諸種のカードによる購入方法にもふれ、衝動買いなどの買い物の仕方を反省し、継続した記録によって定期的な支出と不規則な支出があることなどに気づかせ、予算内で計画的な経済生活をする必要を理解させる 【食】領域「会食」と関連</p> <p>(3) 安全で快適な住まい方</p> <p>個々の住居の違いの大きいことを考慮して指導する</p> <p>ア 涼しく住むための通風・日よけ・照り返しの軽減の工夫、暖かく住むための日射・防寒の工夫などの基礎的事項をわからせ、児童のできる範囲で実践させる 気密性の高い最近の住居では意識的に換気する等、住居に応じた換気をする必要のあることを理解させる 調理用ガスこんろの取扱い学習時に、台所・風呂・湯沸かし器等のガス使用と換気を関連づけて理解させる 燃料の性質と器具の構造との関係をわからせ、安全に使用できるようにする (暖房器具の使用説明書の見方、器具の点検と簡単な手入れの必要と方法、暖房器具の置き場所、温度や湿度の調節など)</p> <p>イ 勉強や仕事に必要な採光や照明について、窓の大きさ・位置、窓からの距離、全体照明と部分照明、壁の色の明度などが照度 (測定) に及ぼす影響を調べ、机やスタンドの位置、照明具や窓ガラスの掃除、電球の交換、カーテン設置 (直射日光をさける) 等を工夫させる</p> <p>ウ 「環境の清潔」は第5学年「ごみの処理」と関連づける</p> <p>(4) 生活に役立つ物の製作</p> <p>*「室内の美化」は削除し中学校で扱う</p> <p>第5学年で削除された「仕事に役立つ物の製作」も含めて、家族の生活に役立つ物を作らせる 家族の生活に役立つ物の製作を通して、家族相互の心の交流が生まれることに気づかせる</p> <p>【被】領域での製作計画や布の裁ち方、縫い方、飾りの仕方等を活かして、能率的にできるよう工夫させる 布を主材料とし、他の材料を加えるのはかまわない 不用品衣類等の再生利用を考えさせるのもよい 製作意図どおり活用できているかどうかまで観察させ、評価させる うまくいっていない場合は、原因を確かめさらに手を加えて本当に役立つ物を作らせる</p> <p><例> コースター、ごみ箱、きんちゃく袋</p>	<p>(1) 子どもがいくら生活時間を検討しても、家族員の生活時間に影響を及ぼすのは難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が共に過ごす時間は共に遊ぶことだけでなく、共に家族のための労働 (家事労働など) をすることにも見出せる ・長い時間家族が共に過ごせても、その質が問題であることに留意して、家族の時間を改善していく手がかりとする ・家族を時間の側面から分析するだけでは、よりよい家族になりえない ・地域の中での家族生活であり、人との実際のつながりを通してさらに家族として豊かになっていくことに注目したい ○ 乳幼児と自分の発達の違い ○ 乳幼児の世話を手伝う <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造の家屋と鉄筋の家屋の比較¹⁵⁾ <p>総合授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<体育>と関連させる ○ 病気の予防と食事、住まい ○ 被服の整備 ○ よい水・空気・日光の必要 ・<理科>と関連させる ○ 人間は他の動植物や周囲の環境と関わって生きている ○ 生物の体の働きと環境との関係 ○ 自然保護 ・<学級活動>と関連させる ○ 飼う ○ 土作り ・【食】《食文化》と関連させる 1) 米食文化 ・農作業・・・米作り ・<社会>と関連させる ○ 農耕開始と生活・社会変化 ・【被】《洗浄》と関連させる 3) 正しい洗浄の仕方がわかる ・正しい洗髪と身体洗浄 ・洗濯方法の比較実験 ・家庭排水の河川汚染の影響 <p>(2) いかに不用品を見極めることが重要であるかを押える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こづかい帳の記録ではこづかいをもらっていない子がいたり使途の差もあるので、同じ年令頃の自分にかかる費用として扱う ・家計簿をつける技術に発展させるのではなく、良い買い方をしているかの点検として、記帳されたものを見る ・【食】《食事と健康》と関連 3) 食品の特徴と見分け方 4) 加工食品 ・品質規準、表示ラベル ・【被】《被服の消費》と関連 7) 日常着の選び方がわかる ・<社会>と関連させる ○ お金の使い方と税金の役割 <p>(4) 生活に役立つものの製作で、主に布が提示される意味が不明である 飾り物が役立つという意識は、不用品を増加させる「役立つ」を慎重に吟味したい</p>	<p>ー自分と家族、住みよい住環境、物の活用ー</p> <p>《人間の生活》</p> <p>1 自分と生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で過ごすことの意義がわかる ・親子で過ごす時間・内容、改善案 ・生活リズムを検討する ・家族の生活リズムのずれの現状・改善 ・身体・健康・・・睡眠、規則正しい生活 ・精神・健康・・・家族と共に過ごす時間 ・農家・自営業の主婦の家事労働 ・自分や家族の生活行動圏を調べる ・環境と人間関係 ・(遊び場、校庭、通学、塾、生活物資の確保、交流) <p>2 家族や地域との関わり方 (人間関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係 (兄弟) を考える ・集団遊びについて ・いじめはないか ・幼児や老人とふれあう ・子ども会や地区の行事に参加する ・自分の生活と近隣への配慮 (騒音、清掃、ごみ処理、あいさつ等) <p>《生活と環境》</p> <p>3 住みやすい住居とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな家 (住居の形式) ・住まいの今・昔 ・(目的別部屋の分類と使われ方) ・健康的な住まい ・通風・換気・採光・照明・騒音・防湿 ・暖房器具による火災事故を知る ・暖房器具等の安全な取扱い方 ・使いやすい住まい ・使いやすい寸法 ・物と身体の大きさ <p>総合授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と人間の生活 ・環境汚染や破壊と空気・水・土・食物 ・(自然破壊、開発、工場廃水、煙、廃棄物) <p>○ 安全教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な遊具・遊び方がわかる ・危険な器具を注意して与える ・他人に注意を喚起でき対処の仕方がわかる <p>《生活と経済》</p> <p>4 物の選び方・買い方がわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に買い物をして失敗した例・困った例から、どんなものが必要でどのように選んで買うべきかを考えさせる ・物の選び方を考える ・必要性、価格、品質 ・表示がわかる (不当表示を含む) ・支払い方法と計画性 ・生活情報を知る ○ 食、被服、住まい、保育、性の情報を知る <p>総合授業</p> <p>5 使い捨て時代を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い捨て時代を考える ・使わないがまだ使える物はないか ・売れ残りはどうなるか ・捨てるとうどうなるか ・紙と森林破壊 (中学校【家】《生活と環境》の総合授業につなげる) ・森林伐採→酸素減少、水・肥沃な土壌の喪失、洪水→ダム→川の環境破壊 ・汚染物質 ・牛乳パック再利用運動を知る ・牛乳パックからはがきを作ろう (製作)

表5. 小学校 第6学年【食物】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1) - 5)}	考 察	学習内容構想 (25 時数)
<p>1 目標</p> <p>(2) 簡単な調理ができるようにするとともに、日常食の栄養的なとり方及び会食のもつ社会的意義を理解させ、簡単な食事を整えることができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 食品の栄養的な組合せを考えた1食分の献立を作り、栄養を考えた食物のとり方を理解させる。</p> <p>(2) 米飯、みそ汁、卵料理、じゃがいも料理、サンドイッチ、飲み物などの簡単な調理ができるようにする。</p> <p>ア 調理に必要な材料の分量及び栄養を考えた材料の組合せ方が分かること。</p> <p>イ 目的に応じた調理法が分かり、計画を立て、調理が能率的にできること。</p> <p>ウ 盛り付け及び配膳を工夫し、望ましい食事の仕方が分かること。</p> <p>(3) 家庭生活における会食の意義を理解させ、計画を立てて楽しい会食ができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>(2) 簡単な調理ができるようにするとともに、日常食の栄養的なとり方や会食の意義を理解し、食事を工夫して整えることができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 栄養を考えた食物のとり方が分かり、1食分の献立を作ることができるようにする。</p> <p>(2) 日常よく使用される食品を用いて簡単な調理ができるようにする。</p> <p>ア 米飯、みそ汁、じゃがいも料理、魚や肉の加工品を使った料理、サンドイッチ、飲み物などの調理ができること。</p> <p>イ 調理に必要な材料の分量が分かり、計画を立て手順よく調理ができること。</p> <p>ウ 盛り付けや配膳を工夫し、望ましい食事の仕方が分かること。</p> <p>(3) 家庭生活における会食の意義を理解し、計画を立てて楽しい会食ができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>学年の枠にとらわれないで、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた</p> <p>(2) 栄養のバランスを考えて簡単な一食分を整えることができるようにする 食事がなごやかな人間関係を作るのに大きな役割を果たしていることを理解させる</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 献立作成</p> <p>第5学年の(1)「<u>栄養</u>」の学習が基礎となる</p> <p>三食の特徴に気づかせる(朝食は簡単になりがち、夕食は団らんの場で、副食も多くなる等)</p> <p>朝・昼・夕食のいずれを扱うかは自由だが、児童の実態を考慮すると、朝食の計画が適当</p> <p>食物の分量は取り上げない 調理実習・給食などと関連して学ばせるとよい</p> <p>(2) 調理</p> <p>*「<u>卵料理</u>」に関する内容は、第5学年に統合し、「<u>魚や肉の加工品</u>」を新しく取り上げた 日常の食生活を考慮したものである</p> <p>*「<u>栄養</u>を考えた材料の組合せ方が分かる」は削除</p> <p>*「<u>目的に応じた調理法が分かり……調理が能率にできること</u>」は削除</p> <p>第6学年では、(1)の「<u>献立</u>」の学習をふまえて2種類以上の調理を同時に実習するとよい</p> <p>ア 米の栄養素と特徴を理解させ、日本人の健康上重要な主食であるにもかかわらず消費量が減少している現状を見直す態度を育てる</p> <p>炊飯は、火加減を調節しながら鍋で炊く 炊飯器は最初からは扱わない、応用発展的に扱う程度とする 米の浸水時間と吸水量(実験もよい)、でんぷんの糊化、乾物からごはんへの変化の観察 みそ汁では、みその製造原理、大豆は貴重な植物性たん白質源であること、飯とみそ(米と大豆)の組み合わせは、互いに欠ける栄養素を補い合うことになり、大変よい食品の組み合わせであることなどを押える だしの取り方(栄養価の点から煮干しが効果的)、みそ味のつけ方・計量、具だくさんの伝統的なみそ汁紹介(豚汁、けんちん汁など)、具の工夫 じゃがいもでは、調理により品種を選択すること、皮むき、切る(調理に応じた切り方に気づかせる)、ゆでる操作の習得(大きさによる加熱のはやさの違い、外から内への熱伝導の実験もよい)</p> <p><例>粉ふきいも、ポテトサラダ、じゃがいもの油いためなど 揚げ物は危険性が大きく好ましくない 魚や肉の加工品は、缶詰・練製品・干物など、地域の特産品もよい</p> <p>加工食品は、製造年月日・品質表示(食品添加物にもふれる)</p> <p>・マークを見て目的に合う物を選ぶようにする(第6学年【家】領域「<u>買い物の仕方</u>」に関連)</p> <p>肉類加工品は、使用直前まで冷蔵する、加熱調理するなど、衛生に気づかせる</p> <p><例>ハムエッグ、ベーコンエッグ、ウインナーやコンビーフと野菜のいため物、魚介缶詰と野菜の煮込みスープなど</p> <p>サンドイッチでは、パンが主食の場合の栄養的な組み合わせを考えさせる</p> <p>バターの効用にもふれる</p> <p>飲み物は、パン食とあわせて扱う(第5学年の「<u>間食</u>」のお茶の学習をもとにする) 茶の種類による抽出温度の違いを理解させる 会食の工夫をさせる マナー</p> <p><例>緑茶、紅茶(レモンティー、ミルクティーなど)</p> <p>(3) 会食</p> <p>会食は人間関係を和やかにすることに気づかせる 【食】領域の総合的な学習である 予算をたて献立作成、品物の選び方、買い方、招待状の出し方、会場設営、進行の仕方、マナーなどを考えさせる 第6学年【家】領域「<u>買い物の仕方</u>、<u>金銭の使い方</u>」と関連配膳や座席の決め方などは、<他教科>や<給食>と関連づける</p> <p><例>米食(またはパン食)中心の献立に食後のデザートを作る、簡単な混ぜ飯・巻き寿司風・おむすび・みそ汁・学習したおかず等、盛り付けを工夫し会食</p>	<p>(2) 日本食と米の重要性を、単に栄養面からだけでなく文化として総合的に扱うことが必要</p> <p>総合授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年<社会>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 我国の食料生産 ○ 農業と自然環境の関わり ・<社会>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の歴史的背景 ○ 農耕開始と生活・社会変化 ○ 各時代の人々の生活 ○ 我国の近代化 <p>(1) 米食とパン食の献立評価をさせる</p> <p>総合授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<学級活動>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 飼育 ○ 土作り ・<体育>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康と食事 ・<理科>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の成長と種子の栄養(デンプン) ○ 消化・吸収・排泄 <p>(2) 「魚や肉の加工品」は、使用推奨になりかねない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の安全性、選択方法を理解する必要がある むしろ利用方法に留意すべきだということをしつかり定着させたい ・【家】《生活と経済》と関連 <ul style="list-style-type: none"> 4) 物の選び方・買い方がわかる <ul style="list-style-type: none"> ・物の選び方を考える ・生活情報を知る <p>サンドイッチと飲み物は、第5学年「ゆで卵」「間食」に統合</p> <p>(3) 外食や市販品と手作りによるコミュニケーション形成のちがいに気づかせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティなどのあらたまった会食だけでなく、日常の食事における団らんの大切さをわからせることが重要である ・<理科>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の成長と種子の栄養(デンプン) ○ 消化・吸収・排泄 ・<学級活動>と関連させる <ul style="list-style-type: none"> ○ 飼育 <ul style="list-style-type: none"> ・鶏を飼う→肉を食べる <p>第5学年《基礎的な調理》と関連させる</p> <p>4) 軽食作り</p> <p>たん白質凝固実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【被】《洗浄》と関連させる <p>3) 正しい洗浄の仕方がわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭排水の河川汚染の影響 <p>お茶の入れ方は第6学年に統合する</p>	<p>—健康的な食生活の条件—</p> <p>総合授業</p> <p>《食文化》</p> <p>1 米食文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食物史 <学級活動>と関連 <ul style="list-style-type: none"> 主要食品を知る(どんぐり・野草食べる) 食料の生産・流通 <ul style="list-style-type: none"> 生産地・生産方法・旬・流通過程 国産食料と輸入食料 <ul style="list-style-type: none"> 水田と治水……貯水、水の浄化作用 調理 <ul style="list-style-type: none"> 加工……加工食品の歴史(人間の知恵) 団らんとマナー ・米食文化の献立の特徴がわかる ・農作業……米作り <p>《食事と健康》</p> <p>2 食べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠食・過食と健康の関係がわかる ・食事時間と孤(個)食の関係を知る ・家庭食・外食・集団給食の食事内容の違いに気づく ・成人病と食生活の関係を知る <p>3 食品の特徴と見分け方</p> <ul style="list-style-type: none"> 米・みそ・じゃがいも・魚・鶏・レバーの特徴、鮮度(色・匂い・見栄え)、旬、品質、表示 <p>4 加工食品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料と製品、保存 ・品質標準(マーク)、表示ラベル(日付・原材料・添加物) ・食品添加物を知る ・亜硝酸塩の検出 ・外見と購買欲 ・価格(流通経費・宣伝費・包装器材費含む) <p>○ 食の情報を知る</p> <p>《基礎的な調理》</p> <p>5 軽食、朝食、簡単な弁当作り、会食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な一食分の献立を考える <p><実習例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白飯 <ul style="list-style-type: none"> 干し魚(干し魚の選び方) またはいわしの手開き または煮干しを焼く みそ汁(または納豆) おろし大根 大根(葉も)即席漬け ・おにぎり <ul style="list-style-type: none"> 鶏の丸焼き 鶏レバーのくん製 粉ふき芋 野菜いため <p>・ごみ処理</p> <p>6 お茶の入れ方、湯の沸かし方(トリハロメタンの除去)</p> <p>7 バイキング給食の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養や味のバランスを考えた一食分の献立の組み合わせと概量を考える ・団らん

表6. 小学校 第6学年【被服】領域

旧 学習指導要領	新 学習指導要領	新学習指導要領の解説 ^{1)～5)}	考 察	学習内容構想 (25 時数)
<p>1 目標</p> <p>(1) 布を用いた身の回りの簡単な物の製作及び日常着の手入れができるようにするとともに、目的に応じた日常着の着方及び選び方を理解させ、被服を整えることができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 目的に応じた日常着の着方及び選び方を理解させ、被服の整え方を工夫することができるようにする。</p> <p>(2) 簡単な上着などの布地や汚れに応じた洗い方を理解させ、その洗たくができるようにする。</p> <p>(3) 日常着の手入れの仕方を工夫し、簡単なほころびなどを直すことができるようにする。</p> <p>(4) 簡単なカバーやエプロンを製作することができるようにする。</p> <p>ア 使用目的に応じた形を考え、大きさのきめ方及び材料の選び方が分かること。</p> <p>イ 採寸及び裁断の仕方並びにまつり縫いなどの手縫い及びミシン縫いによる目的に応じた縫い方を工夫すること。</p> <p>ウ 簡単なししゅうなどによって装飾を工夫すること。</p>	<p>1 目標</p> <p>(1) 布を用いた身の回りの簡単な物の製作や日常着の手入れができるようにするとともに、日常着の着方や選び方を理解し、被服を工夫して整えることができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 日常着の適切な選び方が分かり、被服の整え方を工夫することができるようにする。</p> <p>(2) 日常着の手入れの仕方が分かり、洗たく及びほころび直しができるようにする。</p> <p>(3) 簡単なエプロンやカバー類を工夫して製作できるようにする。</p> <p>ア 使用目的に応じた形や大きさの決め方が分かり、材料を選ぶことができること。</p> <p>イ 採寸や裁断が工夫してできること。</p> <p>ウ 手縫いやミシン縫いにより、目的に応じて縫うことができること。</p>	<p>1 目標</p> <p>学年の枠にとらわれなくて、地域・学校・児童の実態に応じた弾力的な取り扱いができるように、第5学年と第6学年の目標を一つにまとめた</p> <p>(1) 被服製作の基礎的な知識と技能を習得させる 着方を理解した上で、消費者として既製服等を選ぶ目を養い、その場にふさわしい被服を選び、感じよく着られるように手入れして整えることができるようにする</p> <p>2 内容</p> <p>＊第6学年では、「被服の手入れと選び方」を中心に引き上げ、消費者としての目を育てる</p> <p>(1) 日常着の選び方</p> <p>＊「目的に応じた日常着の着方」は、削除して第5学年に統合</p> <p>「被服の整え方」は、(2)「手入れ(洗濯やほころび直し)」と密接に関連づけながら、重複したり、高度にならないようにする 資源を大切にすることを意味からも、リフォームを工夫して被服を整えることができるようにする</p> <p>既製服の選び方 自分の日常着を確かめ、不足している物、新たに必要となる物を明らかにしてから、計画的・経済的に購入できるようにする 自分の体型の特徴や主な部位のサイズを調べたり、試着できない物の選び方を知ることの必要をわからせる 品質表示その他の表示が読み取れ、ボタン付けや縫い方の丈夫さが識別でき、手持ちの日常着との調和を判断して買うことができるようにする 購入する店種(百貨店・スーパー・小売店)の長所・短所なども考えさせる</p> <p>(2) 日常着の手入れ</p> <p>＊「洗たく」は、第6学年に統合</p> <p>「日常着の手入れ」とは、ボタンのとれや、ほころびの補修、汚れの洗濯など</p> <p>ほころびの場所や元の縫い方によってどんな直し方がよいかを考えさせる 洗濯前に直した方がよいほころびやいたみと、洗濯後に直したほうがよいそれらを見分けたり、常に点検し早い目に手入れをすると、被服を長持ちさせることができることに気づかせる</p> <p>綿・混紡・合繊(レーヨン・ポリエステル)などの布地の種類に応じた洗たくの仕方の理解 合繊は、再汚染防止の洗い方にもふれる 汚れの種類や付き方に応じた洗い方の理解 汚れの落ち方や布地の変化を実験で確かめさせるのもよい</p> <p>洗剤の適切な選び方を理解させる</p> <p>洗剤の使用法は、説明や表示をよく確かめ、洗たく物重量に対する液量、標準使用濃度の調整、よく溶かして使うこと、水より湯が溶けやすく、汚れも落ちやすいことを理解させる 部分洗いの理解</p> <p>洗たく用具(計量器、器、干し具、洗たくばさみなど)の適切な使い方を理解させる</p> <p>手洗いを中心に、電気洗たく機による洗たくも扱う 電気洗たく機は、アースの必要性、作業中の安全留意にもふれる 洗たくの原理は手洗いと同じであること、手洗いと比較しての長所・短所(全自動洗たく機)、手洗いとの使い分けの必要に気づかせる</p> <p>(3) エプロンやカバー類の製作</p> <p>＊「まつり縫い」は削除し、中学校の内容とする</p> <p>＊「ししゅう」は削除</p> <p>ここでの製作は【家】領域の(4)「生活に役立つ物の製作」へと発展する</p> <p>エプロンとカバーの製作は、片方でも両方でもよい 使用目的・製作の手順などを見通しながら形や大きさを決める必要を理解させる</p> <p>エプロンの材料は、縫いやすさ・使いやすさ・洗濯などの手入れを考えて、ほつれにくい丈夫な布地を選ぶ必要を理解させる</p> <p>寸法を計る必要のある場所や計り方を工夫させ、計った寸法とゆるみ、でき上がり寸法と縫い代の関係の理解 布目の通し方、裁ち合わせ方、しるしのつけ方などを工夫させる</p> <p>レースやテープなどを縫いつける等の工夫をして楽しく製作できるようにする ジグザグミシンにより、直線縫いと同様の操作で、飾り縫いをさせてもよい</p>	<p>・《被服材料》の理解を、《洗淨》《被服の消費》《着方》へと発展させる</p> <p>・石けんづくり¹⁵⁾</p> <p>(2) 第6学年ではとくに洗たくについて十分な時間をとり、手洗い・洗濯機洗いの両方が適切にできるように指導する</p> <p>・《洗淨》</p> <p>【家】《生活と環境》</p> <p>5) 使い捨て時代を考える</p> <p><体育></p> <p>○ 病気の予防と食事、住まい・衣服の整備</p> <p>○ よい水・空気・日光の必要性</p> <p><理科></p> <p>○ 人間は他の動植物や周囲の環境と関わって生きていること</p> <p>○ 生物の体の動きと環境との関係</p> <p>○ 自然保護</p> <p>・ほころび直しは、本来は第5学年の(2)「整理・整とん、ボタンつけ」に統合できる</p> <p>(3) ミシンの扱いは第6学年にまとめた</p> <p>①第5学年と第6学年の難易度の差の明記がない</p> <p>②教科目標が学年別でなく、弾力的運用が可能</p> <p>③第5学年で手縫いの基礎をしっかり定着させ、第6学年でミシンの直線縫いを定着させる</p> <p>・【家】《生活と経済》と関連</p> <p>4) 物の選び方・買い方がわかる</p> <p>・生活情報を知る</p>	<p>一条・布の成り立ちと被服の手入れ</p> <p>《被服材料》</p> <p>1 綿・毛・ポリエステルの違いを知る</p> <p>強度・風合い・吸水・吸湿性</p> <p>・素材と用途の関連がわかる</p> <p>《洗淨》</p> <p>2 洗剤の役割を調べる</p> <p>・洗剤問題を知る</p> <p>洗剤の種類と成分(天然・合成品)</p> <p>蛍光増白剤</p> <p>用途・表示</p> <p>安全性・環境汚染</p> <p>・廃油石けんを作る</p> <p>3 正しい洗淨の仕方がわかる(総合授業)</p> <p>・正しい洗髪と身体洗淨の仕方がわかる</p> <p>・洗濯方法の比較実験</p> <p>洗剤量・すすぎ度合い</p> <p>・家庭排水の河川汚染への影響を知る</p> <p>色度・濁度・生物</p> <p>《被服管理》</p> <p>4 ほころびのつくろいができる</p> <p>・手縫い(まつり縫い・返し縫い)</p> <p>5 日常着の整理・整とん、手入れ</p> <p>《被服製作・染色》</p> <p>6 給食用テーブルクロス又はエプロンの製作</p> <p>・ミシン直線縫い</p> <p>・簡単な装飾</p> <p>(ミシン又は手縫いによる直線縫い)</p> <p>・市販品との比較</p> <p>縫い方 縫製工場 内職 値段 流通</p> <p>・折れ針・切れ端の処理</p> <p>《被服の消費》《着方》</p> <p>7 日常着の選び方・買い方がわかる</p> <p>・素材の表示と用途の関連がわかる</p> <p>○ 被服の情報を知る</p> <p>8 郷土の染織、繊維産業を見学する(伊予絣など)</p> <p>・被服史にふれる</p>

表 7. 小 学 校 家 庭 科 授 業 の 年 間 計 画

	1 学 期							2 学 期				3 学 期			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	月
第 5 学 年	<p><学> (第1学年～) 鶏を飼う(土作り) → (卵を食べる) → (土作り) →</p> <p><学> (第4学年秋～) 菜種は綿の種植え→収穫→油絞り→(野菜炒め)</p> <p><学> 葉菜・果菜・芋を植える→収穫(野菜炒め) → 収穫(芋のおやつ)</p> <p>【被服】 羊の剪毛観察 (動物園) 春の蚕の飼育 繭作りの観察 夏の蚕の飼育 繭作りの観察</p> <p>【被服】 綿の種植え → 綿収穫 → (糸を紡ぐ)</p> <p>【家庭】 役割分担を見直す 男女の個人差 家族のあり方 ↓ 整理・整とん ムダな物の点検 【被服】 分類・収納 ↓ 【住居】 部屋 ↓ 総合授業 清掃 ↓ ごみの行方 土と水の浄化作用</p> <p>【食物】 五大栄養素 基礎食品群 嗜好と味覚形成 ↓ 卵・野菜・食用油・牛乳・パンの鮮度・品質の見分け方 ↓ 買い方 ↓ 燃料・器具扱い方 整理・整とん・食 べカサ・牛乳 野菜炒め ごみの処理</p>							<p><学> (遠足等) 椎の実拾い(おやつ)</p> <p>【食物】 間食とは 間食のとおり方 ↓ 市販おやつ 選び方・買い方 ↓ 表示(食品添加物) 着色料検出 宣伝と購買欲 遠足のおやつを考える ↓ 【家庭】 お金の使い方 ムダな物の点検 記録の仕方</p> <p>間食作り 食品の選び方 素材を活かしたおやつ 果物の皮むき(干柿) 焼き芋・茹で栗 煎り豆・お好み焼き等</p> <p>【被服】 糸を紡ぐ 綿 羊毛 絹</p>				<p><学> 米作り(苗代) →</p> <p>【被服】 並縫い 玉結び 玉どめ ↓ (物の活用) 古ワタ・シガラ 雑巾・台ふき ↓ 【家庭】 生活に役立つ 物の製作 古毛布で 70の台作り ごみの処理</p> <p>たこ糸で編む ↓ 日本人は何を 着てきたか ↓ 被服の役割を 考える 気温・活動量・ 発汗にあわせて 被服を選ぶ</p>			
第 6 学 年	<p><学> (第1学年～) 鶏を飼う(土作り) → (肉を食べる) → (土作り) →</p> <p><学> 米作り → (田植え) → (稲刈り、脱穀、粉すり、搗精)</p> <p><学> 野草を食べる</p> <p>【被服】 材 料 綿・毛 ポリエステル ↓ 手入れ ↓ はごろび ボタンつけ ↓ 総合授業 洗 浄 ↓ 【家庭】 排水行方 ↓ 環境汚染</p> <p>【家庭】 選び方(表示)・買い方 ↓ 【被服】 日常着の選び方 被服史(伊子餅見学) ↓ 給食用テフロン or エプロン製作 ミシン直線縫い 簡単な装飾 市販品との比較 縫い方・縫製工場 内職 値段・流通</p>							<p><学> どんぐりを食べる</p> <p>【食物】 総合授業 米食文化 歴史 献立 食べ方 どんぐりを食べる</p> <p>一加工食品の一調理 ↓ 原材料 加工原理 選び方 表示 買い方 ↓ 米・みそ・魚・じゃがいも・鶏・レバーの品質・鮮度</p> <p>(朝食・簡単な弁当) 白飯 みそ汁(納豆) おろし大根 干し魚 (いわし手開き焼き) 大根(菜油)即席漬 おにぎり 鶏の丸焼 鶏レバーのくん製 粉ふき芋 野菜炒め お茶の入れ方 バイキング給食の運営 団らんと生活時間 ↓ 【家庭】 親子の時間 生活リズム 環境と人間関係 地域と人間関係</p>				<p>【住居】 住みやすい住居 いろいろな家 (住居の形式) 健康的な住まい 通風・換気・ 暖房(空気) 使いやすい住まい</p> <p>【家庭】 支払い方法と 計画性</p> <p>総合授業 自然環境と人間の生活 (空気・水・土・食物) 環境保全と資源の再利用 牛乳パックから はがき作り</p>			

注) 【家族の生活と住居】領域を【家庭】(家族の生活)と【住居】に分けて示す <学>は<学級活動>を示す